

平成31年4月18日

関係各位

札幌地区バドミントン協会中学運営委員会主催試合での注意事項について

札幌地区バドミントン協会
中学運営委員会

(1) 平成31年4月1日 施行 のルール改正について

札幌地区バドミントン協会中学運営委員会では、平成31年4月1日施行のルール改正につきまして、以下のように対応しますので、会場各校、参加各校は徹底の上、遵守願います。

改正ルールについて

< 競技規則 >

1 サービス (第9条)

1-(6) サーバーのラケットで打たれる瞬間にシャトル全体がコート面から 1.15 m以下でなければならない。(シャフトが下向きでなくてもフォルトではない。) ※2019年4月1日より

< 大会運営規程 >

3 服装については、第23条によるものとする。また、社会人・大学生は所属名、高校生は学校名、小中学生は所属名と氏名の背面表示またはゼッケン(4点留め)をすること。その際、文字列各行の高さは6~10cm、横30cm以内とする。(第24条参照、但し2019/4/1一部改訂)

① 競技規則～サービスルールの変更について、以下の通り実施いたします。

- ・会場においては、支柱に1.15mにビニールテープ等を巻き(ビニールテープ**下部**が1.15mになるように)、主審は支柱のビニールテープを参考に1.15mがどのあたりかを感覚的に察しながらサービスジャッジを行うこととする。
- ・会場一律に、得点表示係を主審と対面に配置し、サービスの時のみサービスジャッジを行うこととする。得点表示係は、支柱のビニールテープを参考に主審と同様に1.15mがどのあたりかを感覚的に察しながら、サービス時に選手のサービスに注視、フォルトの場合は右手を挙げ、主審に知らせる。なお、サービスジャッジは主審、得点表示係(サービスジャッジ)ともに行えるものとする。

☆参加各校は、得点表示係(サービスジャッジ)も、ルールを熟知した者が行うように配慮願います。

② 大会運営規程については、ゼッケンの4点留めの徹底をお願いします。

「北海道」など、背面の入ったウェアを着用する場合は、ゼッケンから背面の文字が見えないようにしてください。主審は、マッチ前に必ず確認するようにしてください。

(2) ブロック大会での「ベンチ」「コーチングシート」の設置について

ブロック大会などにおいて、中学校の体育館でも、団体戦のベンチ、およびコーチングシート、個人戦のコーチングシートを設置します。

団体戦では、団体戦メンバーは必ずベンチに着席(ウォーミングアップ等はもちろんよい)し、試合中は、応援者と選手がわかるようにしてください。

個人戦では、コーチングシートに着席している者のみがインプレーでないとき、インターバル時にアドバイスをすることができることとします。コーチングシートに着席できるのは、事前に登録した監督、コーチ、マネージャーと、その大会に参加している同じ学校の選手のみとします。

登録のない保護者を含めた大人、応援のみの部員、高校生、未成年の大学生、社会人は、マッチ中のアドバイスはできませんので注意してください。厳守願います。

以上